



# ほうき

# 議会だより

第52号

2018年1月25日



## 番原公園のイルミネーション

### おもな内容

- 平成29年度一般会計補正予算…………… 2ページ
- 全員協議会…………… 3ページ
- 行政調査報告…………… 4～5ページ
- 諸報告・提出した意見書…………… 6ページ
- 伯耆町議会に関するアンケート調査結果… 7～9ページ
- 一般質問…………… 10～17ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 18ページ

### 人の動き

	平成30年1月1日現在	前年同月比
人口	11,107人	△152人
(男)	5,287人	△88人
(女)	5,820人	△64人
世帯数	3,824世帯	△1世帯

# 平成29年度 一般会計補正予算（第4号）

※内容は抜粋したものを掲載しております。

## “6,000万円を増額補正し、補正後増額は、78億700万円に”

平成29年12月定例会は、12月8日から会期を10日間として行われました。

このたび新たに、溝口分庁舎等改修事業に1,267万円が追加されました。



### 歳入 入ってくるお金

- 町民税 1, 575万円の増
- 不動産売払収入 1, 49万円の増
- 町債（町の借入金）など 3, 210万円の増

### 歳出 出ていくお金

- 溝口分庁舎等改修事業（設計） 1, 267万円
  - 福祉のまちづくり推進事業（バリアフリー化） 181万円
  - 町子育て支援センター移転改修事業 900万円
  - ふたば保育所増改築事業 877万円
  - 伯耆町和牛肥育ブランド化推進事業 240万円
  - 観光地魅力づくり事業（町道高丸線等照明灯設置事業） 250万円
  - 学校施設整備事業（八郷小学校屋内運動場） 195万円
- など



町子育て支援センター内の様子



溝口保育所



ふたば保育所



八郷小学校 屋内運動場

みんなが知りたい

# 全員協議会

平成29年度12月定例会（全員協議会）は  
12月5日・15日に開催。本会議上程議案  
等説明を受けた。

## 主な協議事項

●専決処分について（伯耆町被災者住宅再建支援事業助成条例の一部改正について）

平成29年9月17日の台風18号により、擁壁を被災した世帯があり、復旧に係る補助制度を実施するため本条例の対象事業に石垣等の補修を追加するもの。

●伯耆町溝口体育館大規模改修工事変更契約  
外壁等修繕の増により契約金額334万円増額

●伯耆町公の施設に係る指定管理者の候補者の選定結果について。

鬼の伝承公園ほか2施設（鬼の電話ボックス）応募なし、このため直営（単年度）  
別所川溪流植物園ほか2施設（交流の森、丸山ふれあいの森）  
選定された団体名  
伯耆町地域振興株式会社  
丸山生産森林組合  
岸本ガーデンクラブまちづくり協議会

●教育委員任期満了に伴い、新教育委員会委員に濱田真代氏を任命された。  
（以上議案提案）

●本庁舎等大規模改修工事

本庁舎及び農村環境改善センターは建築から約30年経過していること、鳥取西部地震、鳥取中部地震と2度の地震を経ていることから、不具合箇所があるのを修繕を行い、長寿命化を図る。また、併せて省エネルギー、バリアフリー、防災に配慮した改修を行う。

●景山総業有限会社が行う開発事業に関する協定書の締結について。

景山総業有限会社が行う、三部市内での真砂土採取事業については、これまで真砂土採取事業を承継してきたが、採取・跡地保全（緑化等）について完了の目的が立ったため、この新規事業を行うこととした。

●吉長地内における集合住宅新築工事に伴う開発協定書の締結について。

現在の集合住宅については開発面積が2,000㎡に満たず、本町の開発指導要綱に基づく開発協議および協定締結が不要であったが、既存の開発区域に隣接する用地にて新築集合住宅を建設するため、一体の事業として開発協議および開発協定を締結する。

●溝口保育所長寿命化改修工事設計の概要について。

老朽化した溝口保育所について、耐久性を高める不具合箇所等の修繕に加え、建物の機能や性能を向上させる改修を行い、施設の長寿命化を図る。

●伯耆町教育振興基本計画（見直し）の策定状況について。

伯耆町教育振興基本計画は、平成23年度から32年度までの10年間で、伯耆町の教育全般の基本的な方針となるもの。平成29年3月に第2次伯耆町総合計画の策定から行われたことから上位計画との整合性を図るため、これまでの教育施策等の進捗状況を踏まえ、見直しを行うもの。

●伯耆町立学校給食センター改修及び増築工事設計業務の中間報告について。

本設計の対象建物である学校給食センターは、新耐震設計法（昭和56年）以降の基準により設計施工された建物であるため、（財）日本建築防災協会で定められている耐震診断及び耐震補強は不要。しかし、建築後25年が経過しており、各部の経年劣化が予想されるため、給食センターの長寿命化を図るとともに、衛生環境の改善等を図る改修及びバレルギー室に係る増築工事を行うもの。

●お試しサテライトオフィスの受け入れについて。

地方への進出を目指している企業等に対して溝口分庁舎6階を提供し、執務環境、立地環境、生活環境、雇用など進出後のミスマッチをできるだけ避け、本町への進出を支援する。

※サテライトオフィスとは……企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務するためのオフィス



教育民生常任委員会行政調査報告

教育行政及び健康受診率向上施策等を調査

調査先 奈良県橿原市及び滋賀県野洲市
行政調査委員 乾 裕、 幅田 千富美、 幸本 元、 細田 栄
勝部 俊徳、 永井 欣也、 長谷川 満

奈良県橿原市いじめ防止基本方針
滋賀県野洲市の保健事業

調査の概要

平成25年3月同市の女子中学生の自死を受け第三者によるいじめ調査委員会の提言をもとにいじめ防止基本方針を策定し、平成28年3月に施行。

(1) スクールライフサポーター

元学校長、教頭などのOB2人、危機管理や法律に精通した元警察官2人を非常勤で再雇用し、各小中学校を巡回し先生方と情報交換及び相談事案や現状把握に努め、いじめの撲滅に向けた対応を協議し、健全な学校生活が営まれるよう指導助言など行っている。

(2) こころのケアルームカウンセラー

平成26年度から全中学校に、平成29年度からは5小学校に配置。週3、4回の勤務し、日常から授業に入り込み生徒観察、

声かけ、相談、連絡ノート等、教員とは違う立場視点で対応し、支援している。(県の臨床心理士会の推せん)を登用している。

調査のまとめ

いじめ等重要な学校問題の早期発見、学校現場の相談、指導的立場の第三者的な組織を立ち上げ、公募ではなく、適任者を探して任命し、活発ないじめ対策の動きが感じられた。



いじめ基本条例 (橿原市)

調査の概要

健診期間半ばに未受診者に対する勧奨通知を送付。電話による勧奨。これらによって県下トップの特定健診受診率を確保。「糖尿病腎症重症化予防指導事業」については、地元医師会等と調整のうえ、昨年に引き続きデー

夕調整と分析及び希望対象者に対する保健指導等を実施。

平成26年度から、特定保健指導とは別に軽度の糖尿羅患者を対象として主治医と連携しながら、管理栄養士による、6ヶ月間の重症化予防指導を実施。



特定健診受診向上について調査 (野洲市)

(2) 国民健康保険保健事業計画

保険者は、レセプト等や統計資料等を活用し、「特定健診等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施。今後は、被保険者の健康保持に努め、保有するデータを活用し、ターゲットを絞った保健事業の展開し、重症化予防を進めていく。

調査のまとめ

1. 特定健診の受診率が平成28年度は53%と高く(伯耆町平成28年度43%)未受診者に対する受診勧奨の通知が効果的と考ええる。
2. 国保会計への法定外繰り入れは行われていない。新国保保険料は県下統一の予定(平成36年を想定)

諸報告書

11月29日	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会	篠原議長
11月24日	鳥取県村議会議員研修会	全議員
11月22日	第61回町村議会議長会全国大会及び第42回豪雪地帯町村議会議長全国大会	篠原議長
11月21日	中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC、米子IC間)4車線化促進期成同盟会総決起集会	篠原議長・幸本副議長
11月20日	地方自治70周年記念式典	篠原議長
11月17日	日野病院組合議会定例会	杉原議員
11月14日	全国過疎地域自立促進連盟総会	篠原議長
11月7日	西部広域行政管理組合議会定例会	篠原議長
10月23日、24日	トップマネジメントセミナー	杉本議員・一橋議員
10月3日、4日	南部箕蚊屋広域連合議会行政調査	篠原議長・細田議員
9月28日、29日	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会行政調査	渡部議員・一橋議員・森下議員・長谷川議員

衆議院議長等に提出した意見書

道路財特法による補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書(要旨)

本町は、中山間地域に広範な道路網を有しており、自動車交通が生活の根幹を支える中山間地集落のため、道路整備とその維持は必要不可欠である。

持続可能な中山間地域を構築するためには、日常生活を支え、災害時、緊急時、積雪時等に安全な通行ができる道路整備が必要であり、歴史や自然など豊かな観光資源等を有効に活用した観光交流人口の拡大や安心して暮らせる地域づくりなど、地方創生を進めるための前提基盤としても地域を繋ぐインフラ（道路）整備は重要である。

しかしながら、道路財特法で規定されている補助率等の嵩上げ措置は平成29年度末で期限切れとなり、平成30年度以降の道路整備に係る補助率等が低減されることで、その結果、自主財源に乏しい本町における今後の計画的な道路整備が困難となり、地方創生の実現が大きく遠ざかることが危惧される。

よって、国におかれては、道路財特法に基づく補助率等の嵩上げ措置を平成30年度以降も継続するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月18日

鳥取県西伯郡伯耆町議会

衆議院議長、参議院議長ほか関係大臣様

# 伯耆町議会に関するアンケート調査について（御礼）

伯耆町議会では、平成29年6月に議員全員で構成する「議会基本条例等調査特別委員会」と「議員定数等調査特別委員会」を設置し、議会のあり方、議員の行動規範、議員定数等について調査、研究を行っております。

特に直近の町議会議員選挙における2回にわたる無投票について、深刻に受け止めており、このたび特別委員会では、町民の皆様への議会に対する意向やご意見を伺い、今後の議会改革の審議の参考にさせていただくため、平成29年11月27日から同年12月11日の期間、アンケート調査を実施いたしました。

ご協力いただきました町民の皆様、誠にありがとうございました。

## 伯耆町議会に関するアンケートの調査結果

- ◆調査対象者 住民基本台帳（平成29年11月1日現在登録）  
18歳以上、2,000人を男女別、年齢別に同数抽出
- ◆配布及び回収 郵送により送付、返信
- ◆調査期間 平成29年11月27日から12月11日
- ◆回答状況

	男性	女性	不明	合計
送付	1,000人	1,000人		2,000人
回答	354人	387人	4人	745人
回答率	35.4%	38.7%		37.3%

（無効：選択項目すべてに回答が無かったもの2通）

年齢	発送	回答数	回答率
10歳代	62人	20人	32.3%
20歳代	270人	58人	21.5%
30歳代	332人	88人	26.5%
40歳代	334人	97人	29.0%
50歳代	334人	135人	40.4%
60歳代	334人	181人	54.2%
70歳以上	334人	163人	48.8%
不明		3人	
合計	2,000人	745人	37.3%

また、アンケート調査は参考資料として、鳥取県西部町村の議員定数・報酬額等の一覧を添付して行いました。回答内容については、次ページよりご覧ください。

[参考資料]

町村名	全人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	財政規模 (万円)	議員定数 (人)	月額議員報酬 (円)	議員期末手当 (円)
伯耆町	11,371	139.44	744,714	14	221,000	861,900
南部町	11,243	114.03	721,233	14	221,000	861,900
大山町	17,003	189.83	1,143,283	16	221,000	861,900
日吉津村	3,497	4.20	229,427	10	221,000	800,573
日南町	5,056	340.96	799,213	12	221,000	861,900
日野町	3,414	133.98	352,266	10	221,000	832,728
江府町	3,147	124.52	361,457	10	221,000	861,900

### 《伯耆町議会に関するアンケート》

※自由記述も多くいただきましたが、プライバシー保護の観点から、内容については記載いたしません。何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。

あなたは、これまでに（平成17年合併後）町議会を傍聴したことがありますか。（○印1つ）

	無い	1回	2~3回	4~5回	6~9回	10回以上	合計
回答数	692人	27人	14人	6人	1人	5人	745人
構成割合	92.9%	3.6%	1.9%	0.8%	0.1%	0.7%	

あなたは、ここ1~2年の間で町議会だより（年4回発行）を読んでいますか。（○印1つ）

	ほとんど全部読んでいる	関心のある記事だけ読む	ほとんど読んでいない	まったく読んでいない	合計
回答数	121人	320人	161人	138人	740人
構成割合	16.4%	43.2%	21.8%	18.6%	

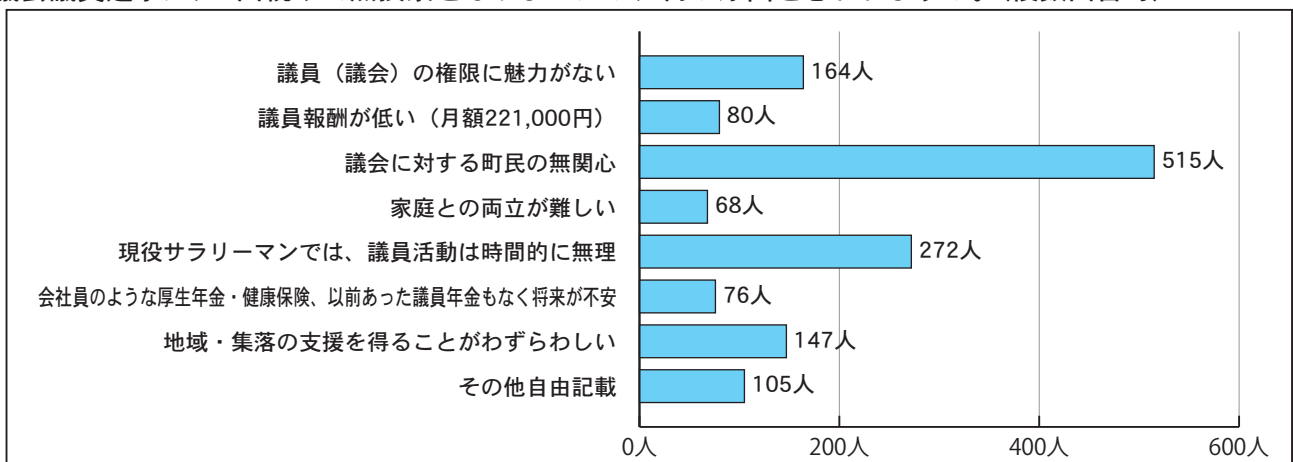
あなたは、ここ1~2年の間で伯耆町有線テレビの議会放送（一般質問など）を見ていますか。（ユーチューブによる議会放送を含む。○印1つ）

	ほとんど見ている	関心のある議員や項目だけ見る	ほとんど見ていない	まったく見ていない	合計
回答数	65人	156人	261人	261人	743人
構成割合	8.7%	21.0%	35.1%	35.1%	

あなたは、議会として町行政へのチェック機能は働いていると思いますか。（○印1つ）

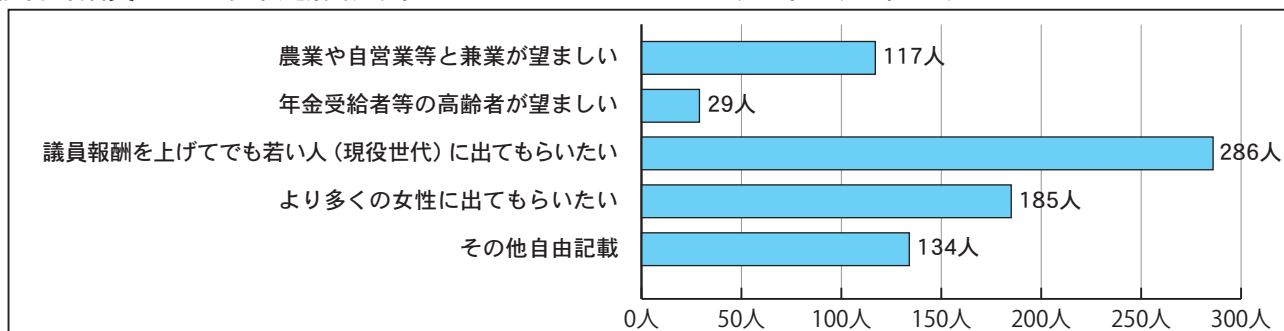
	思う	まあまあ働いている	思わない	わからない	合計
回答数	37人	166人	149人	382人	734人
構成割合	5.0%	22.6%	20.3%	52.0%	

議会議員選挙は、2回続けて無投票となりましたが、何が原因と思われますか。（複数回答可）

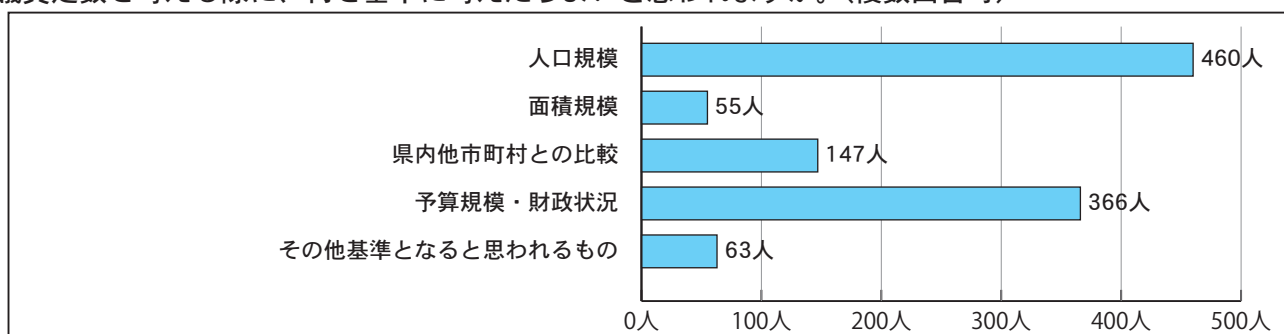




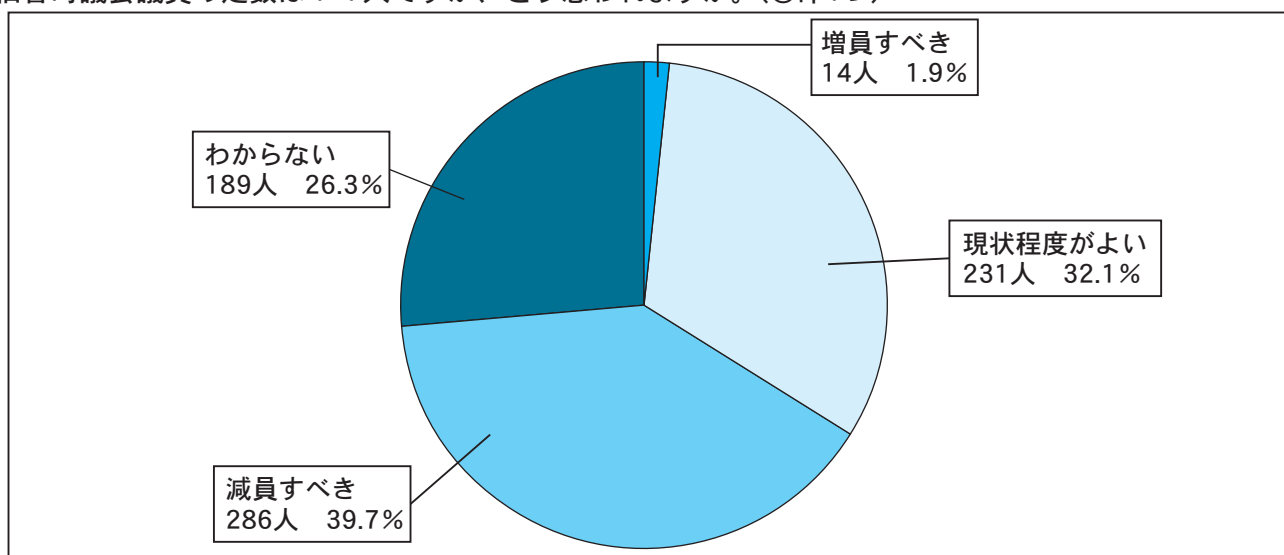
伯耆町議員のなり手不足解消対策について、どう思われますか。(〇印1つ)



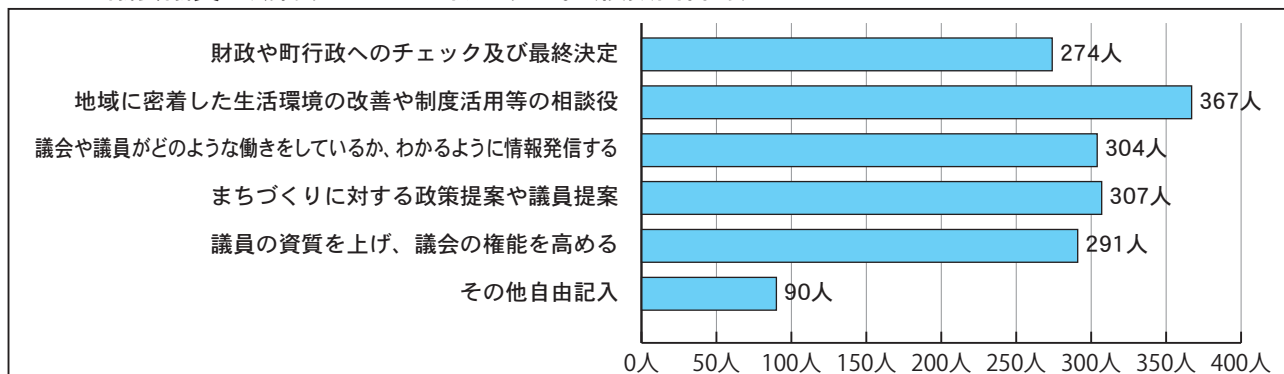
議員定数を考える際に、何を基準に考えたらよいと思われますか。(複数回答可)



伯耆町議会議員の定数は14人ですが、どう思われますか。(〇印1つ)



あなたが議会議員に期待することは何ですか。(複数回答可)



**アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。**

皆様いただいた貴重なご意見を議会内でしっかりと共有し、今後の議会改革の審議の参考にさせていただきます。

# 一般質問 町政を問う！

7人の議員が  
一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長等（執行機関）に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

ページ	質問事項	質問議員
11	1. スマートフォンを活用した子育て支援について 2. 国民健康保険での保健事業充実について 他	乾 裕 
12	1. 目標とする財政フレームについて 2. 育児休業中の保育所入所緩和について 他	細田 栄 
13	1. 町道等の除雪対策について 2. 溝口地域活性方策について	杉原 良仁 
14	1. 可燃物ごみ処理事業について 2. 積極的な空家対策について 他	森下 克彦 
15	1. 町情報を「電光掲示板」で発信の検討について	長谷川 満 
16	1. “少人数学級”導入は、「ゆとり」や「学習格差解消」などに効果をもたらしたか 2. 実効性のある「町民保護計画」の策定を 他	勝部 俊徳 
17	1. 国保の県単位化について 2. (仮称)鳥取西部風力発電事業について 他	幅田千富美 

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます



youtubeの二次元  
バーコードはこちら  
です。

# 町政を問う

## スマートフォンを活用した子育て支援を

### 町長 マイナンバーの稼働を踏まえ研究



母子健康手帳アプリ

**乾** スマートフォンの無料で利用できる「母子健康手帳アプリ」を活用した子育て支援情報配信サービスが県内でも始まっている。本町においてもマイナンバーカードを活用したサービスの展開ができないか。

**町長** 全国で取り入れている自治体もあるが、「母子健康手帳」は、法律に基づいて交付するものであり、代替えるものではなく、スマートフォンアプリ等は補助ツールと



乾 裕

# 国民健康保険での保健事業充実を

## 健康対策課長

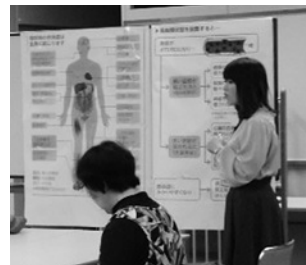
## 医師会との連携を強化し対応したい

見ている。今後の時流を見定めることも必要。研究を続ける。

**乾** 国民健康保険の保健事業における「糖尿病重症化予防」についての対応は。

**健康対策課長** 町では要指導基準値を越える対象者に糖尿病予防教室を開催し、専門医の講演、生活・食事指導している。西部医師会では地域連携

携バスで患者の検査結果や治療方針を共有。治療をサポート。県西部福祉保健局が中心となり、県西部管内糖尿病栄養指導実施要領を平成27年に作成。糖尿病の初期段階の適正管理と進行予防のため医療機関の指示のもと栄養指導を行っている。伯耆町では4名の実績。さらに、町内の中学生



糖尿病予防教室の様子

に対して、保健師や管理栄養士による生活習慣病予防教室を開催し、若い頃からの予防知識向上に努力している。

**乾** 伯耆町ホームページが刷新されたがアクセス数はどれくらいか。

**企画課長** 29年春、ホームページをリニューアルしてから11月末で68万6,184件。1日平均2,812件であり1.6%の増加となっている。

**乾** 高齢者や障がい者の利便性向上を図られているがさらなる取組みは。

**企画課長** 日本工業規格(JIS)のガイドラインを参考に制作したが、全ての方に閲覧できるようにするにはない。

そうした要望が出てくれば、集約してコストとのバランスを考慮した上で次のリニューアルに活かしたい。

**乾** ブームサイト音声読み上げソフトの導入は。

**企画課長** 周辺市町村では米子市が導入している

が、導入の他町村の状況・コスト面・ニーズの把握をした上で必要と判断できれば、低コストで導入できる方法も含め検討したい。

**乾** 総務省の指導ではAランクを目標としているが今の本町ホームページのレベルは。

**企画課長** 日本工業規格に準じてみてAランクと認識している。



重要なお知らせ 伯耆町ホームページ

# 町政を問う

## 向こう3年間の財政指標は

### 町長 28年度決算よりやや良くなる

**町長** 合併特例債が終了し交付税が一本算定になれば、約2億円減少する。当面は有利な起債を活用して、現有の公共施設全般の長寿命化、大規模改修を実施する必要がある。

**細田** 団塊の世代が後期高齢者に到達する2025年問題、少子化対策、子育て支援、高等教育支援など行政需要が大きく変化するが、当面の行政課題は何か。

**町長** 平成28年度決算より、やや良くなると思うが、合併特例の財源措置が平成31年度で終了予定のため、影響が懸念される。

**細田** 平成30年度の予算編成期になったが、平成32年度の財政指標は、どのような見込みか。



細田 栄

## 育児休業中の保育所入所緩和を

### 福祉課長 制度上は難しい

**保育所入所基準を緩和せよ**

**細田** 来年4月入所の申請が行われているが、第2子の育児休業中のため、第1子の入所ができない事例があった。せめて育児休業中は保育に欠けると認定できないか。

**福祉課長** 児童福祉法では、育児休業中は保育に欠けないとしている。

**細田** 既に第1子が入所しており、第2子の産休・育児になった場合、第1子は退所させられるか。

**福祉課長** 既に入所済みの子供は、影響が大きい。ため退所させていない。

**写真美術館前の環境美化を**

**細田** 写真美術館前（大山側）の養魚池跡地に雑草が繁茂し、せつかくの

景観も台無しである。地権者と話し合いをして環境美化に努めないか。

**町長** 農業委員会なども協力して環境美化に努めたい。



ふたば保育所増築「定員増」



本庁舎改修予定



写真美術館前（大山側）の養魚池跡地

# 町政を問う

## 町道等の除雪対策は

### 町長 地域の協力を得ながら最善を尽くしていく



除雪作業中

**町道等の除雪について**

**杉原** 除雪作業を開始する基準は積雪15cm位と伺っているが、これを10cm位に下げることができないか。

**町長** 地域の協力を得ながら最善を尽くしていく。現在15cmの基準を設けているが、降雪状況を把握



杉原 良仁

## 溝口地域活性化方策は

### 町長 街なかの交通の改良を検討

握した上で効果的な除雪を行う。

**地域整備課長** 現実には10cmに満たない場合でも除雪を開始している。今後も弾力的な運用をしていきたい。

**杉原** 主要道に接続する集落道についても、通学、通勤に間に合う早めの除雪作業はできないか。

**地域整備課長** 主要な路線は早い所で午前2時位から除雪を行っている。

集落道についても、早い時間から行うよう依頼している。遅い所があれば教えて頂きたい。

**積雪時の通学路安全対策について**

**杉原** 集落としては歩道除雪が可能な箇所が多く、子供たちは車道を歩くことになる。こんな場

合にスクールバスを利用できないか。

**教育長** 通学路は地域の方々の協力を得て安全確保がなされている。

通学時に車道を歩かざるを得ない場合でも、安全確保ができるよう対応していきたいと考えている。

スクールバスを利用することにについては、定員、便数等を勘案し、関係部署とも協議し検討していきたい。

**溝口地域の活性化方策について**

**杉原** 町として分庁舎を中心とした人の賑わいを取り戻す方策はないか。

分庁舎に行けば、何でも相談できる体制はできないか。例えば保健師や、生活相談ができる人を配置できないか。

**町長** 合併協議に基づいて旧岸本町に本庁舎、旧溝口町に分庁舎はきまつたこと。

分庁舎は縮少をしてきたわけではなく、地域に詳しい職員の配置に心掛ける等工夫している。

街の賑わいは、街なかの交通にスムーズさが欠けるのが影響していると考えており、改良を検討している。

活性化でいえば、インターネットの時代であり、高齢者が増加している今の状況にマッチしたような仕事を作れないか模索している。

**総合窓口課長** 分庁舎への保健師配置は、平成19年度までで、その後9年間は配置はなく、現在住民の方々は、いないことを認知されており配置の

必要は感じていない。他の相談でも本庁舎と連絡をとりあっており問題はないと考えている。

**杉原** 合併すると有利な条件の起債があるが、今までの起債総額はいくらか、その起債は岸本地区、溝口地域それぞれいくらか。

**総務課長** 平成28年度までの合併特例債は、総額で35億6,680万円となっている。そのうち、岸本地区分は19億570万円、溝口地域は4億8,810万円、全域で実施するものは11億7,300万円をそれぞれ充当している。

また、これとは別に、過疎地域である溝口地域は、過疎債も利用している。

# 町政を問う

## 可燃物ごみ処理事業について

**町長** コストを勘案し、効率的な事業を進めたい



管理センターのペレット再生機

**森下** 事業所、保育所から収集された紙オムツは、燃料となるペレットに再生されているが、家庭からの排出分も加え、更なる可燃ごみの減量化を図る考えは。

使用済み紙オムツ、焼却灰の再処理は



森下 克彦

### 積極的な空家対策を

総務課長

特定空家とならないよう関与していく

積極的な空家対策を

**町長** 施設の稼働能力、再処理コスト等を勘案し拡大するとすれば、当面は、保育園児の家庭から持ち込んだ形のものから検討材料。

**森下** 可燃物ごみ焼却後の灰について、溝口分は兵庫県及び愛知県内の、岸本分は三重県内事業者

に再資源化を委託しているが、委託先を同一とすれば、灰処理委託経費の削減につながるのではないか。

**町長** 再処理コスト、委託先処理能力を勘案して委託先を決定している。今後同様の考えで対処する。

町有財産である水路・道路の管理及び処分状況

**森下** 生活用、農業用の用に供されている水路・道路は町有財産であるが、補修を含め維持に当る管理者は町で良いか。

**町長** 町有財産であり、町が対応する。補修等の必要があれば、産業課(水路)あるいは地域整備課(道路)に相談してほしい。



生活用・農業用に供されている水路・道路

**森下** このような財産が民有地と一体利用され、公共の用がなくなれば、売払いを行うことを周知し、税外収入の確保に努めるべきと思うが。

**町長** 売却した事例がある。現在、地籍調査事業を進めているが、そのような機会を通じて処理したい。

**森下** 28年8月時点の空家は78戸、その後の増減状況。また、特定空家の認定戸数は。

**総務課長** 9戸の増があったが、うち1戸について、町補助金を活用して解体された。特定空家の認定はない。

**森下** 民有財産であるが、民生安定の観点から、更に積極的に対策措置を講じることは。

**総務課長** 除却の代執行措置も必要となる特定空家とならないよう、事前対策に積極的に関与していきたい。

# 町政を問う

## 町情報の発信方法について



長谷川 満

### 町情報を「電光掲示板」で発信の検討を。

### 町長 I-T技術の進歩はある。研究は継続する。

**長谷川** 現在、町における行政情報発信といえば、「伯耆町有線テレビ」での「伯耆町チャンネル」、「広報ほづき・議会だより」、「ホームページ」、「防災無線放送」、「各所での看板・横断幕」などがある。だが今後、テレビを見ない、新聞を見ない、町報を見ない、ホームページへ行政の情報を取りにいかないなど、ローカルな地域情報弱者は確実に増

えていくと考えられる。たくさんの方が転がるインターネット志向のなか、自発的に情報を取りにいく必要があるため、情報の発信としては受動的ではなく、紙媒体やテレビと同様の行政情報発信としてはまだまだ関心の薄いとすると比例し、効果が一定を超えていかないと思われる。「町内に向けた情報発信が手厚い町だ」という

ことを町外の通行者にもPRするというような効果があると期待し、まずは「知るこゝろ」、発信する側は「一方的ではなく、きちんと言えろ」を意識して町民の皆様と情報を共有していかねばならない。そこで「テレビ離れ」、「紙媒体離れ」、及びパソコンに慣れない高齢世代に対し、「電光掲示板」の設置を検討はできないか。

**町長** 町内には電光掲示板の機能がついた地域応援型の自動販売機もあり、いろんな情報手段は増えてきている。「最小の経費で最大の効果を生み出すこと。」この基本姿勢に基づいて、ハードルが高い課題だが媒体の選択

を吟味しながら研究を継続する。



横断幕



電光掲示板



デジタルサイネージ (イメージ)



自動販売機

# 町政を問う

## “少人数学級”導入は、「ゆとり」や「学習格差解消」などに効果をもたらしたか

### 教育長 「学習到達度」に効果、生徒一人一人にも細かな目配りできるゆとりが生まれた



勝部 俊徳



「ゆとり」で学習到達度もアップ！  
(少人数学級・岸本中学校・2年C組)



弾道ミサイルを想定した住民避難訓練  
(部活中の子どもたち)



伯耆、出雲、中海の情報発信基地へ！(写真美術館)

**勝部** 中学校での少人数学級導入の効果は、「いじめ」などへの効果は。

**教育長** 平成26年岸中の先生にアンケート。

学習到達度、生徒一人一人への目配りなどに大きな効果あり、との回答。  
**勝部** 保護者の反応は。  
**教育長** 否定的な意見はきていない。また、PT

A協議会からもこの継続要望がされている。  
**勝部** 少人数学級の課題と対応は。

**教育長** 1学級が15人とかの少人数となると一定の対応も必要。

**勝部** 本町中学校の一般教員の勤務実態は。  
**教育長** 28年は、県平均よりかなり勤務時間が多かったが、今年は、県平

均より改善。少人数学級により教員4名増員となり改善に効果があった。  
**勝部** 近隣国からミサイ

ル攻撃などがあつた場合、町の対応は。

**町長** Jアラートを通して町民の皆様への周知が最初の対応となる。  
**勝部** 町民の皆様への周知方法は。

**総務課長** 防災無線、広報車、CATV等で周知。  
**企画課長** ホームページでもトップでお知らせ。

**勝部** 実効性のあるコンパクトな保護計画策定を。

**町長** 適切かつ必要なポイントを集約したような「概要版」も内部検討する。  
**勝部** 「伯耆・出雲・中海」などのプロモーション

**武力攻撃から町民を守る 実効性のある「町民保護計画」の策定を**  
**町長** 的確かつ重要なポイントを集約したような「概要版」も内部検討してゆく

**写真美術館「伯耆・出雲・中海」などの P・R・プロモーションビデオの展開を**  
**町長** 地域情報の発信の上からも「映像コンテンツ」も考えてみたい

**ソビエトの展開を。**  
**町長** 写真美術館入館者の1/3は、植田正治氏のコアなファン、1/3は建築物に造詣の深い人、1/3はこの地域周遊者かと思う。  
入館者に対してもまた、地域情報の発信の上からも「映像コンテンツ」も考えてみたい。



# 町政を問う

## 国保税の引き下げと制度の改善は

### 町長 29年度同様の運営



幅田千富美

# 巨大風力発電は中止を

## 町長 地元へ充分な説明と協議が必要

**幅田** 国保の県単位化の運営方針案が示された。①税の引き下げ制度の改善はあるか。②一般会計からの繰入れがなければ、税の大幅引き上げになる。今後繰入れを実施されるか。③県独自支援制度の創設。④国庫負担金の増額を求めないか。

**町長** 30年度は一般会計から繰入れ、29年度同様の運営を予定。国庫負担増は町村長会で要請している。

**健康対策課長** 軽減世帯は56%、税の引き下げは予定していないが、一般会計からの繰入れは可能。

**巨大風力発電は中止を**  
自然エネルギーの  
転換は地域経済  
振興策で

**幅田** 東京の事業者によ

る巨大な風力発電計画が浮上、環境アセスメントに対応した南部町の県への回答は反対、県は生活環境への重大な影響懸念があり、その低減なければ事業の大幅縮小、廃止を国に回答している。本町はどんな回答をされたか。

**町長** 地元への充分な説明と水源、水路、文化財、農地があり担当部局との協議が必要な点を指摘した。

### 雪害対策を

**幅田** 29年1・2月の大雪は住民生活に大きな被害をもたらした。その被害状況と教訓から適切な対応を。

**町長** 最善を尽くしていく。

### 事業計画の概要

- ◆事業名 (仮称) 鳥取西部風力発電事業
- ◆実施者 合同会社NWE-09インベストメント

※日本再生可能エネルギー株式会社及び日本風力エネルギー株式会社の関連会社として、風力発電所の運用を行うために設立された特別目的会社

- ◆事業計画地 鳥取県西部 (伯耆町・南部町・江府町・日野町)
- ◆計画出力 約160,000kW (風車36基)

(参考) 想定されている風車の概略

項目	緒元
定格出力	4500kW程度
ブレード枚数	3枚
ローター直径	約130m
ハブ高さ	約85m
最大高さ	約150m

※出典 (仮称)鳥取西部風力発電事業に係る計画段階環境配慮書

### 輸送ヘリコプター日 光演習場での飛行訓練について

**幅田** 30年3月から美保基地に配備予定の大型輸送、給油ヘリが日光演習場で離着陸訓練を開始とのことだが、地元説明はされたか。

定員55名、大型車輛も輸送できる巨大ヘリ、ヘ



防衛省ホームページより

リからの落下事故等もあり、ペンション、牛舎、放牧場も近くにあるが中止を求めたい。  
**総務課長** 日光地区懇談会で説明、町防災無線で告知した。大規模災害や国民保護措置の必要な事態等への対応のため県の要請により配備されたもの。県からも騒音対応などを要望されている。



## 楽しい農業・儲かる農業を目指す!!

### 伯耆町女性農業者ネットワーク活動中



左から 長谷川さん、影山さん、事務局椎木さん、遠藤さん、野口さん、森脇さん

**質問** ネットワーク発足のきっかけは。

**質問** 伯耆町女性農業者ネットワーク会員(以下、会員)

農家で働く女性の立場で交流、意見交換し、楽しい農業を目指そうと岸本地区で立ち上げ、約20年経ちました。

**質問** 現在の会員は。

**質問** 平成17年の町合併を機に溝口地区からの会員も加わり、現在、会長

を含め16名の会員数となっております。

**質問** 活動状況は。

**質問** 「地産地消」・食の安全」を図る目的から、ネットワーク立ち上げの頃は有機栽培によるアスパラガスの生産、最近では「学校給食みそ供給事業」として、米、大豆の供給を行っています。

また、会員の中には、学校給食の食材として、野菜、しいたけなどの供給や、小学校での合同給食会に出席もしています。



境港市と伯耆町との女性会合同研修

農業に従事する女性の交流の場所作りも活動の一つであり、視察研修に出掛けたり、年1回県西部地区をエリアとした『女性農業者の集い』の開催も行っています。

**質問** 町民の方にお伝えしたいことは。

**質問** ネットワークの拡大です。農家の女性の皆さん、交流の場へお越し下さい。

### 『女性農業者の集い』開催

日時：平成30年2月6日(火)  
午前10時～

場所：米子コンベンションセンター

主催：女性農業者の集い実行委員会  
(伯耆町女性農業者ネットワーク、さかいみなと女性農業人財バンク)

皆様、お出掛け下さい。



女性同士で楽しく交流

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

平成29年12月定例会は、条例の一部改正等13議案と予算決算等常任委員会に付託された補正予算等の6議案を厳正に審査し、原案どおり議決しました。一般質問には、7名が登壇し、活発な議論が展開されました。

今号では、特に、議会に関するアンケート調査報告を掲載し読者の皆様にも読んで頂けるものと思います。

本年は戌年ということので、戌笑うと言われるように景気回復を望みたいところですが、今後も町民の皆様信頼される議会だよりとなるよう私たち広報委員会一同精進して参ります。

【編集】

(乾 裕)

議会広報常任委員会

委員長 一橋 信介

副委員長 長谷川 満

委員長 幸本 元

委員長 乾 裕

委員長 杉本 大介

委員長 森下 克彦

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

